



# ひかり

No.8

URL <http://www.kojimachi-e.ed.jp/>

平成28年11月30日  
千代田区立翹町小学校  
校長 山田 茂利

寒さも日ごとに増す中、子供たちが元気に校庭に出て行く姿に頼もしさを感じます。

11月は学校公開、研究発表会公開授業にご来校賜りありがとうございました。日々の学習や生活の積み重ねによる子供たちの成長（身に付けた力）をご覧いただくことができたことと思います。また、いただきましたご感想からも多くの方々から授業について、おおむね良好との評価をいただきましたことご報告いたします。なお、ご意見等については今後の教育活動の改善のための資料とさせていただきます。

さて、今号は11月25日にご参観いただきました研究発表会公開授業における本校（園）の研究について、その概要をご紹介します。

まず、研究主題に設定した「考えることを楽しむ子供の育成」という、本校（園）の目指す学力や学びについて、その一端をお話しします。

本校（園）では“21世紀型能力”としても提案されている「思考力」を、「学習活動（習得・活用・探求）のエンジンであり、方向を決めるハンドルにもなる。」と捉えています。そして、このエンジンを動かすエネルギーが、「学ぶことの楽しさ（「考えることを楽しむ」を含む）」だと考えています。また、幼稚園の場合は“遊び”の中に「学び（考えるを含む）の芽生え」があり、楽しく遊ぶ（集中して遊ぶ）そのこと自体が学びでありエネルギーであると考えています。したがって本校（園）では、何よりもそのエネルギーとなる“学ぶ（遊ぶ）ことを楽しむ”ことのできる子供を育てることに主眼を置いています。

（話は少し飛躍するかもしれませんが）子供が学ぶ（遊ぶ）ことの楽しさを実感できれば、“そうなることが望ましい未来”に向かって、“かけがえのない現在をよりよく生きようとする”ようになるのでは、と考えています。そして、本校（園）では、そのことを研究の根っこにしていますし、そこに教育の原点があるように思うのです。

その実現のために、私たちは数多くの研究授業（保育）を行い、授業（保育）改善を図っていかねばならないと思っています。また、本校（園）は若い教員が多くなってきていますので、真の意味での切磋琢磨、相互研鑽ができる教員・チームになるよう引き続き努力していく所存です。

次に、算数の1時間の学習活動についてお伝えいたします。

## 1時間の学習過程（学習の流れ） 問題解決型学習の充実を図る

とらえる	身近な物・実物や教材・教具、イメージしやすい問い・問題、前時の学習等から課題をつかむ。
考えをもつ （自分で考える）	解決の見通しをもち、自分で問題を解決する。 見る、絵、教具、言葉、数、図（テープ図）、表、式、数直線などを使って考える。
伝え合い・学び合う （友達と考える） ※ペア、トリオ、グループ、全体、スクラ ンブル 等	○伝え合いの目的をもって、分かりやすい伝え方で説明する。（ノートや教具等を使って説明する。／学習で学んだ、考えを説明するための表現や友達の考えと関連付けて説明するための表現を参考にする。） ○友達の考えや意見についてポイントをもって聞く ・同じか違うか。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこが自分と違うか。</li> <li>・なぜ、そう考えたのか。</li> <li>・自分たちの考えをもっとよい考えにする方法はないか。</li> <li>・もっとよい解決方法はないか。</li> <li>・考えや意見を聞いて分からなかったことは質問する。</li> </ul>
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあてに対するまとめを考える。</li> <li>○適用問題を解く。</li> <li>○学習感想を書く。</li> </ul> <p>(思ったことや疑問をまとめたりするポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習でよく分かったこと。</li> <li>・今日の学習でうれしかったこと。</li> <li>・友達の考えを聞いてよいと思ったこと。また、その理由。</li> <li>・友だちの考えや授業の中で気が付いたこと。</li> <li>・伝え合ってよかったこと。</li> <li>・一番簡単な方法は誰の考えか。また、その理由。</li> <li>・これから気を付けたいこと。</li> <li>・発見したこと。</li> <li>・次の学習で使ってみたいこと。</li> <li>・分からなかったこと。</li> <li>・不思議だと思ったこと。</li> </ul>

## 学年・学校の窓

### 「お手紙」音読劇発表会

2年担任 寺田 美弥、岩田 真美、稲田 秀孝

学校公開で行った学級での発表会の後、今度は学年でそれぞれの音読劇を見合いました。そして、学習後の振り返りでは、「もっと大きな声で言った方がいい。」「動きをつけてみたいな。」「がまくんの、お手紙をもらった時のせりふの言い方でとっても嬉しい気持ちが伝わってきたから、まねしたい。」などの感想が聞かれるとともに、もっと相手に伝わるように練習して、見ている人に楽しんでもらいたいという意見も出てきました。そこで、4年生のみなさんに発表することにしました。

それからの練習では、気持ちをこめて音読するだけでなくどのように動きをつけたらいいのかを考えたり、いすや机を使ったり、実際にお手紙を書いたり、登場人物のお面を作ったりして、練習を重ねました。本番で4年生のお兄さん、お姉さんに発表するのは、とても緊張した様子でしたが、どのグループも工夫した素晴らしい発表ができました。

そして、4年生からの「とっても楽しかったよ。」「がまくんとかえるくんの気持ちが伝わって、上手だった。」などの感想が書かれたお手紙を見て、嬉しそうに、少し誇らしげな顔をしている子供たちでした。



## We are 麴町探検隊！！ ～究めよう！ 孺恋自然体験～

5年担任 木村 正太、海老名 文恵

“麴町探検隊”は10月20日（木）～22日（土）の2泊3日で、2度目の孺恋自然体験交流教室に行ってきました。テーマは「春からの成長」と「自主性」です。

今回は、春の体験交流教室で設定し追究した個人の課題に加え、学年共通で「浅間山」と「オリンピック・パラリンピック」について、事前学習したうえで交流（移動）教室に臨みました。共通の課題を決めたことで、車窓から浅間山が見えた瞬間に「おお！！」と歓声を上げ、みんなで感想を言いながら興味深く浅間山を見たり、また実際にオリンピック・パラリンピックの会場となった風越公園にある聖火台やカーリング場の見学では、積極的にメモをとったりするなど意欲的に交流（移動）教室を楽しむ子供たちの姿がたくさん見られました。

生活面では、班活動や係活動など春での活動を生かし、子供たちが主体となって行うことができました。特に係活動では、それぞれの係が準備の段階から自分たちで必要な道具を作ったり、宿舎での生活をよりよくする工夫を考えたりして実践することができました。

このように5年生の「孺恋自然体験交流教室」を春と秋の二度行うということは、非常に意義があり、二度の交流（移動）教室を通して子供たちの大きな成長を見ることができました。

そして、今学校では、春同様に個人の課題をまとめる活動と、来年度孺恋に行く4年生に孺恋自然体験交流教室の様子を紹介するための準備を行っています。また、活動を振り返り、この交流（移動）教室で身に付けた力をこれからの生活の中で具体的に生かせるよう、仲間と協力して毎日の生活を送っています。



風越公園の聖火台



農作業体験対面式

## わんぱくキッズ活動

特別活動部担当 木村正太、末永亜由、清水千尋

本校の特色ある教育活動の一つ“わんぱくキッズ活動”は、「異学年集団での活動を通して、児童相互の交流を深め、仲良く協力し信頼し合おうとする態度を育てること」と、「集団の一員としての自覚をもち、自分の役割を意識して主体的に取り組もうとする態度を育てること」を目標に活動しています。そして、6年生が中心となって班をリードし、各学年の児童もめあてをもって活動に参加しています。

今年度も、異学年集団での遊び、千代田区一斉清掃、あおぞら給食、児童集会などで、キッズ班活動をしています。そして、12月16日（金）に“わんぱくキッズ祭り”が行われます。これまでの活動での関わりを生かし、班員みんなで協力するとともに、各班が工夫する出し物を思い切り楽しんでもらいたいです。

そして、今後とも“わんぱくキッズ活動”が、子供たちの主体性を育む麴町小学校の素晴らしい伝統として引き継がれるよう私たちは援助していきます。